

ステップアップドイツ語

科目責任者：能 登 慶 和（語学・人文教育部門）

I. 前 文

本講座は、ドイツ語の基礎課程を修了した学生を対象とし、より実践的な技能を身につけることを目標とするドイツ語の特別講座である。授業ではドイツ語技能検定試験対策および日常ドイツ語会話を取り扱う予定である。特に5・6年次のドイツ海外研修を希望する学生には積極的に受講してもらいたい。（少人数クラスが予想されるため、履修者の要望に可能な限り応じる）。

II. 受入可能人数

人数は制限しない。

III. 担当教員

能 登 慶 和（語学・人文教育部門）

IV. 学習内容

ドイツ語技能検定試験（通称：独検）4～3級を目指して過去問等に取り組む。発音および文法項目の基礎に加えて簡単な日常会話の表現についても学ぶ。また、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1～A2（基礎）レベルを目指し、日常における身近な話題や活動のやり取りを通じて実践的な日常会話表現を学ぶ。

V. 学修の到達目標

- ・ドイツ語の発音および文法の仕組みを理解し、応用することができる。
- ・簡単な会話表現およびテキストを理解することができる。
- ・日常における実践的な会話表現を身につけ、現地で応用することができる。
- ・外国語による積極的なコミュニケーション能力を身に付け、実践することができる。

VI. 成績評価の方法・基準

授業中に行う確認テスト（50%）と日々の学修成果（50%）によって総合的に評価する。

VII. 使用する教材・資料など

担当者が講義で指示する。必要があれば辞書を貸し出す。

VIII. 質問への対応方法

メールで随時受け付け可（y-noto@dokkyomed.ac.jp）。ドイツ語研究室（基礎棟3階303A）に来て質問しても良い。

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

毎回15分程度の事後学習を必ずすること。内容としては、既習の文法項目、語意、表現についてまとめる。また、復習問題を解く。

X. コアカリ記号・番号

LL-01-01-02, RE-01-01-02, IT-03-02-01, CM-01-01-01

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題等は適宜返却し、その都度コメント等を付与する。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

| ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | |
|--|---|
| 医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる | ◎ |
| 能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる | ○ |
| 地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる | |
| 国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる | |
| リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる | |

二学年